

琉球大学学術リポジトリ

発刊を祝して (2)

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村山, 大記 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015060

発 刊 を 祝 し て (2)

今度沖縄農業研究会の設立に当り機関誌第1号が発刊されることになりましたことは沖縄の農業に関心を抱く1人として心よりお喜び申上げる次第であります。

戦後の沖縄農業は大きな転換を余儀なくされたのでありますが、今後の沖縄農業がいかにあるべきかということについては十分なる検討と企画が必要と考えられます。

沖縄の農業には種々の制約があります。

第1は年毎に訪れる台風であります。この台風の被害を考慮に入れなければ沖縄の農業は考えられないと思います。これに対する被害の少ない作物あるいはその品種、または台風を回避する植付時期の検討などが大切と考えられます。

第2は気温ならびに湿度の高いことによる病害虫の多発であります。これらに対する防除が十分でなく、基礎的な問題の考究が要請されます。

第3は土性の問題でありましょう。新興産業として衆目を集めているパイナップルも土性の点で制約を受けています。その他根本問題として1戸当りの栽培面積の少ないことでありましょう。

これらの制約を受ける外に沖縄に適する作物、品種、耕種法、施肥法その他の技術的な面と共に農業経営など討議・検討すべき問題が多々あることと思います。これらは日本本土の農業に比べて極めて多くの困難を抱合していると思いますが、1つづつ地道に解決していく外ないと考察されます。

本研究会があらゆる角度から農業問題と取組み、真に沖縄農業のために努力を惜しまれず、大いなる熱意を以って邁進されんことを願ってやみません。沖縄農業研究会の機関誌の発刊を祝し、ご発展をお祈りいたします。(5月1日)

北海道大学教授

農学博士 村 山 大 記